

# 立体道路制度の活用意向調査結果

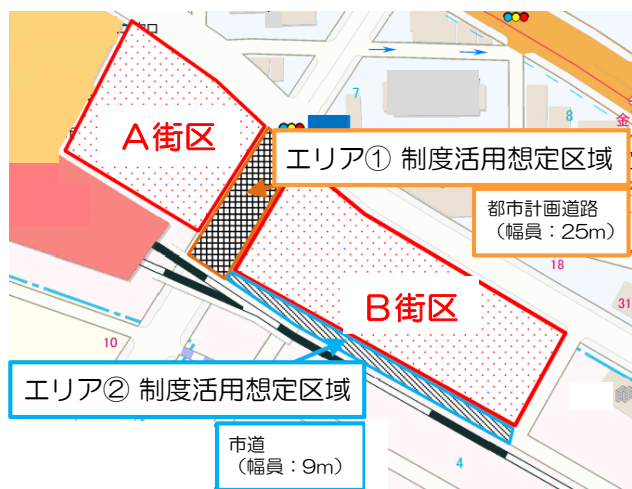
立体道路制度の検討にあたって全国的な活用ニーズを把握するため、三大都市圏を除く政令市、中核市、及び特別市を対象として広くアンケートを実施する等の調査を行った結果、15地区から具体的な活用意向が得られた。

## 活用意向のある15地区について、特性をもとに分類

- 1) 既存の駅前広場等の上空利用のニーズ : 9地区
- 2) 既存道路を挟んだ敷地の共同化のニーズ : 4地区
- 3) バリアフリーや回遊性向上のニーズ : 2地区

### 1) 既存の駅前広場等の上空利用のニーズの例

県庁所在都市の駅前において、既存道路とのネットワークを確保するとともに、道路上空を利用した一体的な施設整備を検討中。

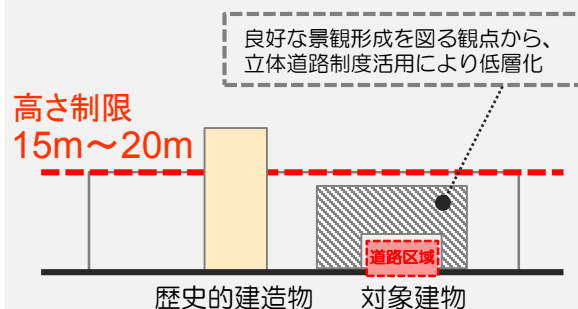


### 2) 既存道路を挟んだ敷地の共同化のニーズの例

歴史的建造物を中心としたまちづくりを行う地方中核都市において、良好な景観形成を図る観点から、道路上空を利用して広い床面積を確保しつつ低層化を検討中。

#### ※高度地区の断面イメージ

歴史的建造物の存在感の保持等のため、周辺地区に段階的な高度地区を設定。



### 3) バリアフリーや回遊性向上のニーズの例

連続立体事業により高架化される鉄道駅前の計画道路上空を横断的に平面利用することで、バリアフリーの歩行空間の実現を考慮した一体的な空間利用を検討中。

